

第6学年外国語科学習指導案

令和5年11月8日(水)
第5校時 14時00分～14時45分
6年1組 15名
指導者 奥田 紘章 (HRT)
木村 友美 (JET)

1 単元名 自分の「推し」を紹介しよう (*Junior Sunshine 6 Lesson8 What sport do you like?*)

2 単元について

(1) 児童について

令和4年度に実施した英検ESGにおいて、スコアは「聞くこと」「書くこと」「話すこと」「読むこと」の順に高く、全体としては前年度よりもスコアが向上しており、児童の確かな英語力を育成することができている。本学級の児童は、一学期に実施した定期テストの全体の平均正答率が93%と、外国語の基礎の定着が伺える。「話すこと」においては、授業中の様子から、ゲームやチャンツなどを通して単語や短い文を積極的に発音しようとするなど、意欲的な態度を見せている。

一方、自分自身を表現することにおいては課題も残っている。発表の場面においては、自分の考えに自信を持たず、原稿を棒読みしたり、相手の目を見て伝わりやすいようにはっきり話したりすることに苦手意識を持っている児童もいる。本単元では、卒業を5ヶ月後に迎えた今、外国語で自分の「推し」を発表するという言語活動を通して、相手を意識した伝え方や、相手の意見を受け入れながら聞くことなど、より良好な関係の構築につなげたい。

(2) 教材について

本教材は、好きなスポーツについてたずねたり答えたりする方法について学び、友だちの興味や関心について知ることができる。また、単元の最後には、好きなスポーツ選手や、してみたいスポーツを発表する場面が設定されており、自己表現につなげやすい教材でもある。しかし、学級では、スポーツよりも漫画やゲーム、ピアノなど興味関心は多岐にわたっている。

そこで、本教材の言語材料を活用し、『自分の紹介したい「推し」について、友だちに配慮しながら発表することができる』という単元の目標を設定し、児童一人ひとりが、自分に合った興味関心を発表できるようにする。本単元を通して、自分の新しい一面を紹介して他者理解を深めるとともに、様々な表現技法や既習の英語表現を積極的に取り入れ、試行錯誤を繰り返す中で、自分や友だちの良さを再発見につながることを期待している。

(3) 指導について

指導にあたっては、単元のゴールを児童と共有し、見通しを持たせながら一つ一つの活動に目的を持って取り組ませていく。毎時間導入時に、教師がロールモデルを見せ、単元のゴールの姿をイメージさせる。そこでは、様々なジャンルの「推し」を取り上げることで、児童の発表に対する意欲を高めたい。また、教師自身が児童に配慮した発表の仕方を実践することで、相手意識を高めさせたい。例えば、ゆっくりハッキリ話す、写真を使う、既習表現や理解しやすい語彙を使う、相手の目を見て発表する、質問を投げかけながら話す、自分の気持ちを入れるなどが挙げられる。

課題である発表に対する苦手意識は、ICTを効果的に活用しながら対応していく。本単元では、自分自身の発表を録画し、撮りためていくことや、録画した動画を見直し表現方法を工夫させること、児童の良い発表(動画記録)を積極的にフィードバックに活用し、友だちから学ぶ場面を設定している。さらに、『自分の「推し」を紹介する』という目標達成に向けて、意識的に言語材料を繰り返す場面を多く設定して知識・技能の定着を図る。発表の場面では、メモやマッピングを活用したり、写真やスライドを活用したりすることで、相手の反応を見ながら自身を持って発表に臨めるようにしたい。単元後には学級の友だちに反応やコメントをもらうことで、満足感や達成感をもち、次への表現意欲を高めるようにしたい。

3. 言語活動の視点「話すこと（発表）」

必然性	5ヶ月後に卒業を控え、クラスの友だちに今よりもさらに自分のことを知ってもらい、仲を深めるためには自分の好きなもの(推し)を伝えることはとても効果的だと考える。自分が紹介したい推しについて、どうやったら相手にその良さが伝わるかを試行錯誤し、選んだ理由やアピールポイントなどを整理し、考えを構築していく。普段の会話ではなかなか表に出せないことも、外国語を通して表現する機会とする。
ほんもの	自分がクラスの友だちに紹介したい好きなもの(推し)とその理由をクラスの友だちに伝え、自分の新しい一面として、良さをアピールする。
相手意識	自分が紹介したい好きなもの(推し)や、その理由が相手に伝わるように、伝え方を工夫する。聞き手は、リアクションの言葉で反応したり、質問したり答えたりしながら聞く。クラスの友だちに、自分の紹介したい好きなもの(推し)が十分に伝わるように、伝え方や表現等を工夫して紹介する。
コミュニケーションの楽しさ	自分が紹介したい推しについて、その良さを考え伝えることで、自分の思いが相手に伝わった喜びを感じたり、さらに工夫して伝えようとしたりする。

4. 単元の目標

自分の新しい一面を伝えるために、自分の紹介したい「推し」やその理由について、伝えようとする内容を整理したり、相手に伝わるように工夫したりすることを通して、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

5. 関連する学習指導要領における領域別目標

話すこと [発表]	イ 自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
--------------	---

6. 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [発表]	<p><知識> What sport do you ~? I like ~. I want to play ~. およびその関連語句について理解している。</p> <p><技能> 自分の好きなもの(推し)とその理由について、I like ~. My favorite ○○ is ~. 等の表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを発表する技能を身に付けている。</p>	自分の好きなもの(推し)やその理由を友だちに知ってもらうために、伝える内容を整理した上で、自分の考えや気持ちを発表している。	自分の好きなもの(推し)やその理由を友だちに知ってもらうために、伝える内容を整理した上で、自分の考えや気持ちを発表しようとしている。

7. 指導と評価の計画（単元指導計画）（全6時間）

時	学習活動	知	思	主	評価規準<方法>
1	「スポーツについてどんなことを言っているのか聞き取ろう」	○			<p><知識・技能> What sports do you ~ ?</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツに関わる表現について聞き取ろうとする。 ・教師の発表を基に、学習ゴールをと今後の見通しを持つことができる。 				<p>I like ～. を用いた表現を理解している。</p> <p>【行動観察】</p>
2	<p>「好きなスポーツ選手について質問したり、答えたりしよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きなスポーツ選手について質問したり、答えたりできるようにする。 ・自分の発表を、録画して提出 	○			<p>〈知識・技能〉</p> <p>Who is your favorite～? My favorite sports player is～? の表現を理解している。</p> <p>【行動観察・提出動画分析】</p>
3	<p>「してみたいスポーツについて質問したり答えたりしよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・してみたいスポーツについて質問したり、答えたりできるようにする。 ・自分の発表を、録画して提出 	○			<p>〈知識・技能〉</p> <p>What sport do you want to～? I want to play～. を用いて発表している。</p> <p>【行動観察・提出動画分析】</p>
4	<p>「好きなスポーツや選手、してみたいスポーツについて質問したり、答えたりしよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きなスポーツや選手、してみたいスポーツについて質問したり、答えたりできるようにする。 ・自分の発表を、録画して提出 	◎			<p>〈知識・技能〉</p> <p>What sport do you～? I like ～. の表現を用いて発表している。</p> <p>【行動観察・提出動画分析】</p>
5	<p>「英語での説明表現を考えよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の推しを英語で説明できるように、マッピングを活用し表現を考える。 ・自分の発表を、録画して提出 		○	○	<p>〈思考・判断・表現〉</p> <p>既習の表現方法を用いて、より相手に伝わる発表をしている。</p> <p>〈主体的に学習に取り組む態度〉</p> <p>《同上》発表しようとしている。</p> <p>【記述分析・提出動画分析】</p>
6 本 時	<p>「友だちがより興味を持つように発表をグレードアップしよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の推しについて友だちと発表し合い、よいところを見つける活動を通して、友だちが興味を持てる発表になる工夫をすることができる。 ・自分の発表を、録画して提出 		○	○	<p>〈思考・判断・表現〉</p> <p>みんなを惹きつける発表にするために、自分たちの紹介したい推しについて、自分の推しに関する具体的な情報を整理した上で発表している。</p> <p>〈主体的に学習に取り組む態度〉</p> <p>《同上》発表しようとしている。</p> <p>【記述分析・提出動画分析】</p>
7	<p>「自分たちの推しを紹介しよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの推しの特徴を友だちに発表することができる。 	◎	◎	◎	<p>〈知識・技能〉</p> <p>既習表現や新出表現を用いて発表している。</p> <p>〈思考・判断・表現〉</p> <p>自分の好きなもの(推し)やその理由を友だちに知ってもらうために、好きなものについて自分の考えや気持ちを発表している。</p> <p>〈主体的に学習に取り組む態度〉</p> <p>《同上》発表しようとしている。</p> <p>【行動観察】</p>

8. 本時案 (6 / 7)

(1) 題目 「友だちの表現を取り入れながら発表をグレードアップしよう」

(2) 本時のねらい

自分の好きなもの、紹介したいものについて、友だちと発表し合って互いの発表から良いところを見つけるとともに、自分の考えを整理したり再構築したりする活動を通して、相手がより興味を持つように発表の工夫し、考えを形成することができる。

(3) 展開

時間	学習活動	指導上の留意点	評価
1	あいさつをする。	○話しやすい雰囲気をつくる。	
3	前時の振り返りを行う。	○前時に提出した動画を見直し既習事項を確認する。 (例) I want to play rugby. My favorite sports player is ○○.	
5	モデル表現を比較する。	○教師が例を2種類提示し、違いを比較させる。 ・ペアで気づきを出し合い、表現の違いを確認させる。 ・気づきを全体で共有し、ポイントを理解させる。 ・詳しくすることで、自分の推しについてよくわかってもらえることに気づかせる。	
8	めあてを確認する。	友だちがより興味を持つように発表をグレードアップしよう	
	マッピングで思考を整理する。	○グレードアップするための表現を考え、出し合い、ワークシート(マッピング)に赤色で書き込ませる。	<p>〈思・判・表〉 みんなを惹きつける発表にするために、自分たちの紹介したい推しについて、自分の推しに関する具体的な情報を整理した上で発表している。</p> <p>【行動観察】</p> <p>〈主体的に学習に取り組む態度〉 《同上》発表しようとしている。</p> <p>【行動観察】</p>
8	Activity① 発表の練習を行う。	○ペアで発表練習をする。 ・ローテーションで何人かの友だちと発表を行わせる ・友だちの発表で取り入れたいところをメモさせる。	
8	質問を全体で解決する。	○中間指導を行い、英語で言えなかった表現を確認し、全体で考えさせる。(板書にまとめる)	
	友だちの良い表現を確認する。	○友だちの発表で取り入れたいところについて交流させる。(発表・もしくは動画で撮影したものを見せる)	
	自分の考えを再構築する。	○全体交流の内容を踏まえて良いところを取り入れさせる。	
5	Activity② 発表の練習を行う。	○Activity①と違うペアで発表練習を行わせる。	
3	発表を録画し提出する	○活動の最後に、発表を録画して提出させる。	
3	振り返りを行う。	<p>【児童に期待する振り返りの例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・呼びかけるような内容を追加したり、繰り返しの部分を作ってみたりした。 ・「めっちゃかっこいい」など、前より詳しい情報や自分の気持ちを追加することができた。 	
1	あいさつをする。		

